

事業の背景・目的

種の保存法及び天然記念物に指定されているゴイシツバメシジミの熊本県球磨郡水上村市房山麓の個体群の保全をはかるためには、食草であるシシンランが健全に生育する環境の整備が必要である。熊本県球磨郡水上村市房山麓の照葉樹林のゴイシツバメシジミ生息地では、民間による生息地改善活動が行われてきたが、コロナ禍と豪雨被害（土石流）により停滞している。この事業では、ゴイシツバメシジミ及びシシンランの保全のため、生息地整備に係るステークホルダーの連携を構築し、ゴイシツバメシジミ生息地としての質及び量を増加させる。

事業の内容

ア 社会連携構築事業

関連省庁、地方自治体のほか、周辺土地所有者、関連産業を含め、ステークホルダーを明確にし、連携できる体制を構築する。

イ ゴイシツバメシジミモニタリング事業

複数店のモニタリングサイトを設定し、成虫発生時期に合わせ、可能な限り多くの観察記録を収集する。過去のモニタリングデータの分析を進め、モニタリング手法の改善、補足、簡略的な方法、市民参加可能な方法を検討する。



照葉樹林内のミヤマトベラで吸蜜するゴイシツバメシジミ

ウ シシンラン個体群強化事業

シシンランの生育環境のデータを定量的に取得し、シシンランの野外導入適地を検討する。将来的に野外に導入可能なよう、シシンランを増殖する。半野外でモニタリング可能な「生態観察サイト」を設置する。

エ 森づくり事業

周辺のあふべき森林の姿についての森林関係者との議論を行う。

オ 教育普及事業

観察会などを行い、教育普及を進める。ホームページ等を作成し、保全のための情報を発信する。

得られた成果

- ・ 関連省庁や地方自治体に加え、周辺の土地所有者や関連産業を含むステークホルダーと情報交換を行った。
- ・ ゴイシツバメシジミの個体群モニタリングについては、発生した成虫数を住民参加型で調査した。令和6年度は延べ69個体を確認した。ただし、調査手法には一部あいまいな点が残るため、来年度以降は方法を見直し、継続的に実施する予定である。
- ・ シシンランの生息環境、とくに森林内の微気象を把握するための調査を開始した。今後、専門家の協力を得てデータを解析し、現地での保全施策に反映させる。
- ・ シシンランを野外に導入するため、増殖を行った。
- ・ 調査等の住民参加型の実施や成果の発信により地域の関心を高めるとともに、生息環境の周辺地域への拡大を目指す。